

各 位



平成 27 年 10 月 30 日

上場会社名 マルコ株式会社  
代表者 代表取締役社長 朝倉 英文  
(コード番号 9980)  
問合せ先責任者 執行役員 管理本部長代理兼経理部長 巻田 眞一郎  
(TEL 06-6233-5000)

## 平成 28 年 3 月期業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上と繰延税金資産の取崩し並びに配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

平成 27 年 9 月 17 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### ●業績予想の修正について

平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,100	△1,060	△1,000	△1,230	△40.35
今回修正予想 (B)	6,000	△1,040	△990	△4,060	△132.88
増減額 (B-A)	△100	20	10	△2,830	
増減率 (%)	△1.6	—	—	—	

(注) 平成 27 年 3 月期は、連結決算を行っておりませんので、前期第 2 四半期実績（平成 27 年 3 月期第 2 四半期）は記載しておりません。

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,000	420	490	110	3.61
今回修正予想 (B)	13,100	△800	△720	△3,890	△127.63
増減額 (B-A)	△2,900	△1,220	△1,210	△4,000	
増減率 (%)	△18.1	—	—	—	

(注) 平成 27 年 3 月期は、連結決算を行っておりませんので、前期実績（平成 27 年 3 月期）は記載しておりません。

### 修正の理由

平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想をうけて、平成 28 年 3 月期第 2 四半期において、特別損失（減損損失）の計上と繰延税金資産の取崩しを実施いたします。これにより、親会社株主に帰属する四半期純損失が拡大する見込みであります。

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想

平成 27 年 9 月 17 日に公表した「平成 28 年 3 月期業績予想の修正及び配当予想の修正（中間無配）並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」でご説明いたしました通り、下期につきましては、顧客拡大を最大のテーマとしております。期初より新規のお客様を紹介していただいた会員様に特典を付ける新たな会員制度を導入いたしま

したが、浸透に時間がかかり、上期では売上が期初予想を下回りました。

新たな顧客獲得策として 1. 現会員様向け新規顧客紹介特典 2. 職域販売として企業毎に従業員様向けのセミナー開催（当社商品の魅力を知っていただきご来店につなげる） 3. 体型補整を実感していただくための無料モニター制度（3週間での体型補整トライアル） 4. 最近来店されていない顧客の再来店促進策としてメールマガジンの活用などを実施し、新会員制度の浸透促進とともに顧客拡大を進めてまいります。

商品政策としましては、11月に基幹商品である、「Carille（カリーユ）」、「Belleages Avance Sakura（ベルアージュ アヴァンセ サクラ）」の新色の発売を行い、第3四半期からの売上にドライブをかけてまいります。

下期は上期比11億円の売上増を計画しておりますが、通期では期初売上予想を29億円下回る見込みであります。経費につきましては前期からの削減策を継続し、顧客拡大に向けて社員の活性化を図るための組織・人事制度の見直しを行います。また、期初に立てた社員採用計画を見直し、社員数を計画比減少させることなどにより人件費を期初予想より抑制してまいります。

上期での新会員制度の浸透の遅れの影響もあり、下期も引き続き時間を要することが予想されるため期初売上予想を14億円下回る見込みであります。上記の経費削減により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも黒字化を見込んでおります。しかしながら通期では上期の落ち込みを補うにはいたらず、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みであります。

### ●特別損失（減損損失）の計上と繰延税金資産の取崩しについて

当社の保有する店舗・全社資産において、収益性の低下がみられたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、平成28年3月期第2四半期において、減損損失2,650百万円を特別損失として追加計上いたします。

当期及び今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、平成28年3月期第2四半期において、更に繰延税金資産の残額を全額取崩し、法人税等調整額206百万円を計上しております。

### ●配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 （平成27年9月17日発表）	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—				
前期実績 （平成27年3月期）	—	4.00	—	2.00	6.00

#### 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けており、基本的には業績に裏付けされた成果の配分を行う方針であります。内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定した配当を実施することを基本方針としております。

しかしながら、今回の業績修正を踏まえ、期末配当は、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上